

年 度 評 価 シ ー ト

課名 高齢者福祉課

施設の名称 静岡市井川高齢者生活福祉センター	指定管理者名 (福) 静岡市社会福祉協議会
<p>1 履行状況</p> <p>業務仕様書及び事業計画書に従って、概ね適切に履行されていた。</p> <p>(1) 維持管理業務 事業計画に従って、施設設備や送迎用業務車両の定期的点検業務が適切に履行されていた。</p> <p>(2) 介護サービス事業等 介護（介護予防）デイサービス等を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設全体の延べ利用者数 2,404人（対前年度比：+513人、+27.1%） ・ショートステイの延べ利用者数 112人（対前年度比：+65人） ・生きがいデイサービスの延べ利用者数 0人（対前年度比：±0人） ・介護（介護予防）デイサービスの延べ利用者数 1,928人 (対前年度比：+377人、+24.3%) ・ケアプラン作成の利用件数 364件（対前年度比：+71件、+24.2%） ・生活支援型居室については、前年度と同様に利用者はいなかった。引き続き、当該サービスの周知に努めていく。 <p>(3) 地域交流事業 井川交番による防犯講話等（毎月2回実施）、井川こども園との交流会（3回）、美容ボランティア（23回）等が実施された。</p>	
<p>2 市民（利用者）からの意見・要望の内容とその対応状況の評価（クレーム対応 等）</p> <p>利用者アンケートの結果から得られた意見について、適時適切に対応済。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デイサービスの時間延長希望については、延長する方向で検討中。 ・リハビリを増やしてほしいという希望については、身体を動かすレクや屋外への歩行訓練を増やした。 ・地域住民のためのイベント実施希望については、衣料品の移動販売や歯科保健講話を実施した。 	
<p>3 市民（利用者）へのアンケートや満足度調査の状況評価</p> <p>(1) 利用者アンケート 施設利用者17人から回答を得た。全体平均99.1%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 職員対応（平均） → 満足15.7人（100%） 不満0人 ・ 送迎 → 満足13人（100%） 不満0人 ・ 環境 → 満足10人（90.9%） 不満1人（9.1%） ・ 清掃 → 満足10人（100%） 不満0人 ・ 食事 → 満足13人（100%） 不満0人 ・ 入浴 → 満足8人（100%） 不満0人 ※利用なし6人 	

- ・ 日中活動 → 満足12人 (100%) 不満0人
- ・ 介護計画 → 満足11人 (100%) 不満0人
- ・ 福祉用具 → 満足14人 (100%) 不満0人 ※利用なし1人
- ・ 医療連携 → 満足12人 (100%) 不満0人

高齢である施設利用者に配慮し、可能な範囲での回答を求めたところ、未回答が多くなってしまった。特記事項には「いつも親切にさせていただいて感謝します」等の記載があり、特に職員応対について高い評価が得られていることがうかがえる。今後のサービス提供も期待したい。

(2) 市民アンケート

地域住民106人から回答を得た。

- ・ 施設利用有無 → あり19人 (17.9%) なし87人 (82.1%)
- ・ 職員応対 → 満足17人 (94.4%) 不満1人 (5.6%)
- ・ 送迎車運行 → 満足18人 (100%) 不満0人
- ・ 施設の清潔さ → 満足18人 (100%) 不満0人
- ・ 設備の利便性 → 満足17人 (100%) 不満0人
- ・ 開館時間 → 満足16人 (100%) 不満0人

地域住民からの評価は概ね高いが、実際の利用は少ない。地域おこし協力隊からの協力申出や、利用しない人へのイベント実施希望等の意見もあることから、より一層地域との連携を深め、地域に開かれた施設となるよう今後の活動に期待したい。

4 指定管理者の経理状況の評価

概ね予算書のとおり執行されており、良好である。

5 総括的な評価（課題事項・指摘事項及びそれらの改善状況 など）

前年度事務事故発生の有無	無
前年度モニタリング調査における改善協議事項の有無	無

- ・ デイサービス事業は、昨年度より利用者数が11名増加し、年間延べ利用回数も増加した。
- ・ ショートステイ事業は、昨年度より利用者が増加したほか、利用が定着してきたことから年間延べ利用回数も増加している。
- ・ ケアプラン作成件数については近年増加している。
- ・ 井川地域の利用対象者数は限られており、利用者数を大幅に増加させることは難しい。しかし新規利用の声掛けを広範囲に実施することで、令和3年度は利用者が大幅に増加した。今後も利用の声掛けを継続し、地域住民との交流の機会を積極的に持つ等の地道な取り組みによって利用者の確保に努めていきたい。

※事務事故が発生したとき及びモニタリングにおいて改善の指導があったときは、必ず改善状況を記載すること。